

通信小海

「私にあるもの」

牧師 荒 毅 あらかみ まこと
実

イエス様の弟子にペテロとヨハネという名の者たちがいました。ある日、二人は祈るために宮に上って行きました。すると、宮の門のところに生まれつき足の不自由な人が座って施しを求めています。二人は、その人に眼を留めて言いました。「私たちを見なさい。」その人は、何かもらえると期待して、二人に眼を注ぎます。するとペテロが言いました。「金銀は私にはない。しかし、私にあるものをあげよう。ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がりなさい。」生まれつき足の不自由な人は、ペテロの言葉を聞いてど

「今月のみことば」「すると、ペテロは言った。金銀は私にはない。しかし、私にあるものをあげよう。ナザレのイエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。」 使徒3章6節

う思ったのでしようか。「なんだ、お金をくれると期待して損をした。何を言おうかと思えば、生まれて一度も立ったことのない自分が立てるわけがないじゃないか。」と怒ったのか、それとも、「私にあるものとは何だろう。ナザレ出身のあのイエス様がキリスト（救い主）だったと言うのか。良く分からないうが、言われた通り立ち上がってみよう。」と決心したのか…。

答えは後者です。その人は、自力で立つことは難しくても、ペテロに手を貸してもらいながら立ち上がることはできました。そして「直接話したことはないけれども、噂に聞くあのイエス様を信じてみたら、何か起こるかもしれない。」そう思ったのでしよう。彼は立ち上がるとすぐに歩き出し、飛んだり跳ねたりしながら、神様を賛美して

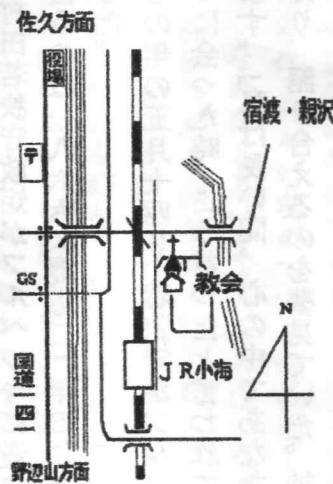
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・一一〇二 TEL 0267・88・7169

〒振替 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

*初めての方も安心してお越しください。

*個人的な聖書勉強やご相談にも遠慮なくお越しください。

※当教会は、エホバの証人とは一切関係ありません。

宮に入っていました。

この奇跡は人生の大転換を私たちも体験することが出来ます。私たちも人生の大半をお金に頼り、将来に対する不安を抱きながらも、お金さえあれば何とか平穏な生活を送れると思つているかも知れません。しかし、実際の問題は金銭の有無ではなく、信仰の有無なのです。しかも、何を信じるかが重要です。信じる対象が本物であり、力がなければ平安は訪れません。

ペテロたちにあつたもの。それは「信仰」です。奇跡を行う力のある真の神様であるイエスを信じる信仰。その信仰は神様の恵みによつて与えられるものです。そして、あなたもいただくことができます。ただ、イエスを救い主として信じるだけで良いのです。死に勝利し、よみがえつて今も生きておられるイエス様が共に居てくださる平安を、これを手にして読んで下さっているお一人一人が受け取ってくださいることを心から願っております。

連載



聖書を読んだサムライたち

もうひとつの幕末維新史

守部 喜雅 【著】

第一章・洋上に浮かんでいた聖書

⑨

聖書という不思議な書物の意味を

知ろうと、若狭守は格闘します。一八六二（文久二）年、若狭守は長崎でフルベッキという宣教師が活動していることを知り、弟の綾部三左衛門を始め三人の佐賀藩の人材を長崎に送り込みます。おそらく若狭守自身がフルベッキに直接教えを乞いに行きたかったに違いありません。しかし家老という立場上、それは不可能でした。

長崎に着いた彼らはフルベッキに「聖書を教えてほしい」と懇願します。それを聞いたフルベッキの喜びは

どんなに大きかったか分かりません。日本人に聖書の真理を伝えたい、というのが彼の来日の最大の目的でした。

聖書の学びは英訳聖書、オランダ語聖書、それに二種類の漢訳聖書をテキストに行われました。当時、英語の知識も十分でない佐賀藩の青年たちに英語教育も兼ねていたのでしょう。そして、青年たちの約四年間にわたる研修期間を経て、村田若狭守政矩がフルベッキに遂に出会うのは一八六六（慶応二）年のことでした。

その年の五月十四日、若狭守がフルベッキに会った時、こう言つたと言われています。「私は長い間、心の中であなたを知り、語り合えるのを夢見ていた。神の摂理により、今日、実現したのは大変に幸せなことである。」また、聖書を読んだ時の印象をこう語っています。「私が初めて、イエス・キリストの品性と事業を読んだ時の感激は言葉に表せない。かくの如き人物を見たことも聞いたことも想像したことなかった。彼の品性と生きざまに私の心は虜になった。」（続

ニチニチソウ

日野草・日々想



湯たんぼ

子どもの頃、冬と言えば夜寝る時間より少し早めにお布団の足もとに湯たんぼを入れて、じんわり温かくなつた中に入るのが、何とも言えず心地よかつたのを覚えています。

電化製品が生活の主流となり、冬に暖を取るのも、今は電気を使ったものがほとんどかもしれません。我が家でも湯たんぼの出番は「たまに」くらいの頻度で待機しているのが最近です。というのも、うちには人間湯たんぼが居てくれるから。夏には火の玉のように暑くて、くつついて寝たいとはとても思えないのですが、冬になれば話は別です。

最近、娘がくれた手紙には「ままへいつもだいすきだよ。またいつしよにねようね。」と書いてあり、可愛いなあど心がほっこりしました。文字通り「川の字になつて真ん中で絵本を読み、両側にいる子ども達の体温であたたまりながら眠りにつけるのは、湯たんぼの心地よさとは比べ難いものがあります。子ども達が寝付いた後に布団をすつと抜けて一仕事する夜も、体が冷え切つて戻る布団が温かく、人間湯たんぼが温めておいてくれたありがたさと幸せを噛みしめるのです。

ある時、どの季節のどんなところが好きかについて話をしてしていると、友人が「冬は温かいものを『あつたか』って思えるから好き」と言い、ステキな感覚だなあと共感して大切に思っているのですが、四季がある日本、冬の寒さを経験できるからこそそのものですね。人間湯たんぼに温めてもらう夜、思い出す聖書のみことばがあります。「二人が一緒に寝ると温かくなる。一人ではどうして温かくなるだらうか。」この言葉

の先に「二人は一人よりもまさっている。二人の労苦には、良い報いがあるからだ。どちらかが倒れるときには、一人がその仲間を起こす。」と語られている箇所は、総じて仲間、友人、協力者、身寄りのある幸い、一人では得られない恵みを述べていると言えます。

人間関係が希薄で冷めていると言われる現代、人々が求めているのは優しい温もりなのだと思います。それは、電気で機械的に早く効率よく経済的に温めるようなものではなく、湯たんぼみたくに時間はかかるかもしれないけれど、じんわり体に広がっていくような、温もりを心で感じられる優しさ……スマホ画面でのやり取りではなく、実際に一緒に居て思いを声に出して語り合い、助け支え合えるような仲間との関わり……。

そんなことを考えながら、子どもの体温を肌で感じて眠れる時も長くはないのだから、湯たんぼになつてくれる冬だけだけでなく、暑い夏でも一緒に寝られることを喜んでいたいと思うのでした。

中学生学習室 新年度募集



中学生・新中学生のみなさん、英語と数学と一緒に勉強しませんか？
 学習室では、個々のペースに合わせて基礎・基本の確認を丁寧に行い、
 定期テストや受験対策、苦手解消のお手伝いをします。
 『教会』という場所で、安心できる雰囲気の中、少人数で学習を進めます。
 ぜひ、学習室にいらしてください。お待ちしております。

教科/内容

●英語

- ・教科書に準じた基礎英文法を中心に。英作文、英単語（小テストで確認）
- ・長文テキストとして、バイブルストーリー・対訳聖書を用います

●数学

- ・教科書に準じた計算・標準問題
- ・単元ごとに繰り返し問題練習（小テストで確認）



曜日/時間

(水) ①15:30~16:45 ※教科と時間帯は受講生に応じて組むことが
 ②16:55~18:10 できます(各教科 75分)

月謝

1科目 1コマ1,000円 (実施回数に応じて、翌月受領)

※基本 月4回(4~8コマ) 休日・欠席等の振替なしとさせていただきます

◎ 詳細は教会へお問い合わせください。 担当：荒^{あらかもみ} 知^{ちえ} 〆0267-88-7169

※4月8日(水) 新年度授業開始予定※

生活困窮者支援

山谷(やま) 農場

いつもありがとうございます

支援先への物資の郵送が滞りなく出来るよう、費用に充てる未使用切手・書き損じハガキ・手元にある使わないハガキ等、ぜひ続けてお寄せください。よろしくお願い致します。

〈連絡先〉藤田 寛

☎ 090・1436・6334

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

〈物資送付先〉 小海キリスト教会、または、南牧村社協へ。〒384・1302 南牧村大字海ノ口966・15 南牧村社会福祉協議会 山谷農場

*着払い送付はご遠慮ください。

*土曜日の配達指定でお願いします。

山谷農場事務局(藤田) 小海町芦谷ヒルサイドコーポ一〇二号室 毎週土曜

カンパ: 振替 〇〇二四〇・四・五三七九六

☆活動の近況などは、山谷農場フェイスブックをご覧ください。

